



障がいには、身体・知的・精神などがあり、人によっては程度も異なります。例えば聴覚に障がいがある人は、聞こえないことやうまく発音できないことを理解されない場合があります。また、視覚に障がいがある人は、移動時や文字の読み書き、色の識別などに困難を強いられ、上肢・下肢に障がいがある人は、移動や体温調節などに困難を強いられています。

このほか、心臓、呼吸機能などの内部障がいを持つている人は疲れやすい人が多く、バスの優先席を利用することに対し、理解されにくいなどの悩みを抱えています。

こうした困難や悩みは、生活の上で支障となる物理的なバリアーだけでなく、ちょっとした理解など、周囲の人たちの心のバリアーを取り除くことで、より良い配慮がたくさんできます。困っているような人を見かけたから、まず声を掛けるなどの、心づかいをお願いします。

障がいを理解してみなさんの優しい心づかいと協力を

国際シンボルマーク



障がい者が利用できる建物、施設であることを表す、世界共通のシンボルマーク。

このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。車椅子を利用する障がい者を限定し、使用してはなりません。

ハートプラスマーク



身体内部（心臓、呼吸機能、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）に障がいがある人を表すマーク。

内部障がいの人の中には、電車などの優先席に座りたい、近くでの携帯電話の使用を控えてほしい、障がい者用駐車スペースに停めたいといったことを希望していることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

盲人のための国際シンボルマーク



視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などであることを表すマーク。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマーク。このマークを提示された場合は、相手が「聞こえない」ことを理解し、コミュニケーションの方法への配慮について、ご協力をお願いします。



オストメイトマーク

人工こう門・人工ぼうこうを使用する人（オストメイト）のための設備があることを表すマーク。

マークの意味を知り障がいに配慮を

障がい者に配慮した施設や、障がいの内容について啓発するためのマークがあります。これらのマークの意味を知ること、障がいへの理解を深めてください。

マークを見た時には、障がいへの配慮について、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

身体障害者標識



身体が不自由な人が運転する車に表示するマーク。

危険防止のため、やむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。

ほじょ犬マーク



身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）同伴の啓発のためのマーク。

公共施設や交通機関はもちろん、スーパー、ホテル、レストランなどに、このマークがついていると身体障がい者と補助犬が同伴できます。

補助犬はペットではありません。体の不自由な人の体の一部となって働いています。社会のマナーはきちんと訓練されており、衛生面でもきちんと管理されています。

お店の入口などでこのマークを見かけたり、補助犬を連れてくる人を見かけた場合は、ご理解とご協力をお願いします。

